

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 5 区分
 【発行日】平成 23 年 1 月 20 日 (2011.1.20)

【公開番号】特開 2008-266868 (P2008-266868A)
 【公開日】平成 20 年 11 月 6 日 (2008.11.6)
 【年通号数】公開・登録公報 2008-044
 【出願番号】特願 2008-63842 (P2008-63842)
 【国際特許分類】

D 0 1 F 6/76 (2006.01)

【 F I 】

D 0 1 F 6/76 D

【手続補正書】
 【提出日】平成 22 年 11 月 25 日 (2010.11.25)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

ポリフェニレンサルファイドの粉末を減圧下で温度 350 未満で熔融してペレット化したペレットを、温度 130 ～ 170 の減圧下で乾燥した後、熔融し、紡糸口金から紡出し、延伸した後に所定の長さに切断することにより、沸点が 200 以上の揮発成分を 0.15 重量%以下含有するポリフェニレンサルファイド短繊維を製造する、ポリフェニレンサルファイド短繊維の製造方法。

【請求項 2】

ポリフェニレンサルファイド短繊維を 200 で 2000 時間の熱処理した時の引張強度低下が 40 % 以内である、請求項 1 に記載のポリフェニレンサルファイド短繊維の製造方法。

【請求項 3】

請求項 1 又は 2 に記載の製造方法により得られるポリフェニレンサルファイド短繊維であって、バグフィルター濾布用であることを特徴とするポリフェニレンサルファイド短繊維。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0008
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0008】

本発明は、前記した目的を達成するために次の構成を有する。

すなわち、ポリフェニレンサルファイドの粉末を減圧下で温度 350 未満で熔融してペレット化したペレットを、温度 130 ～ 170 の減圧下で乾燥した後、熔融し、紡糸口金から紡出し、延伸した後に所定の長さに切断することにより、沸点が 200 以上の揮発成分を 0.15 重量%以下含有するポリフェニレンサルファイド短繊維を製造する、ポリフェニレンサルファイド短繊維の製造方法である。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 9 】

また、本発明の ＰＰＳ短繊維は、前記した製造方法により得られるポリフェニレンサル
ファイド短繊維であって、バグフィルター濾布用であるポリフェニレンサルファイド短繊
維である。